

わかりやすく、楽しく伝える沖縄県広報誌

美ら島 沖縄

ちゅらしまおきなわ

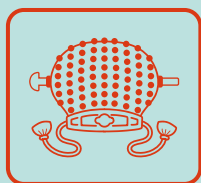
11 2026
vol.613
無料



Qこの日はなんの日？

月曜

[霜月]



令和8年

11月

旧10月15日
守禮之邦

2026





渡名喜村

撮影・阿左見雄大



4

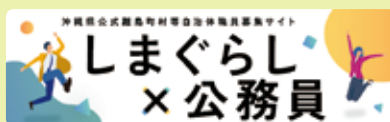


5



6

4 フクギ並木と白砂の道／5 村役場を出ると広がるマジックアワーの景色／6 地域活性化起業人(左)、税所さん(中)、地域おこし協力隊(右)で協力してインターンを受け入れ



離島振興への思いを実現し、
相互の人材育成につなげる！



離島町村等自治体「しまぐらし×公務員」
職員募集サイト

沖縄の魅力あふれる離島や地域を支える公務員の仕事を発信する特設サイト。各町村役場の採用情報、職員の声、地域での暮らし情報などを掲載しています。



南大東村



1



2



3

1 海軍棒プール／2 星野洞／3 中川さん(奥右から4人目)、村職員として県と意見交換

＝ 離島の役場が抱える課題

沖縄県には多くの有人離島があり、なかでも小規模な島々では、人口減少や少子高齢化が進む中、さまざまな課題を抱えています。住民の生活を支える役場でも職員不足が課題となり、行政サービスを維持しながら次の世代を担う職員を育成することが難しくなっています。

＝ ともに支え合う仕組み

そこで県は、令和7年度から職員が不足する離島の役場へ県職員を派遣しています。また、令和8年度からは、小規模離島町村役場と職員を相互に派遣する取組を始めました。離島町村の職員が県の実務研修に参加する間、県職員は離島町村の役場で業務を担うことで、島の実情を知り、地域振興に対する豊かな視野を培います。離島町村と県が手を取り合い、人材を育てながら、持続可能な島づくりをともに目指しています。

■ 渡名喜村より

令和7年度へ派遣

税所清隆さん

人口約280人の渡名喜島で、暮らしを支える役場職員を増やすため、

インターンの受け入れなどに取り組んでいます。参加者が特産品作りに汗を流し、赤ちゃんを島全体で見守る温かさに触れ、目を輝かせる姿がありました。私一人の力は小さくても、これまでの縁を活かし、島内外の方々と力を合わせ、できることを積み重ねていく。その中で、顔の見える誰かの暮らしを支える。自分の仕事ができることに繋がっていると実感できることが、離島の公務員として働くやりがいです。

■ 南大東村より

令和8年度へ派遣

中川貴裕さん

周囲を断崖に囲まれた南大東島。砂浜のない島で、先人が岩を削って造った海水プールが唯一の海。地下には世界屈指の鍾乳洞が眠り、地上は一面のサトウキビ畑。この島の暮らしを未来へつなぐ仕事をしていきます。南大東村の強みであるサトウキビを今まで以上に活かし、魅力ある地域振興につなげたい。住民の一人として地域のさまざまな行事に参加し、皆さんと協力して地域振興に寄与したいです。

問い合わせ

市町村課 電話：098-866-2134



11/13~14 高校生美ら産フェア
県立総合運動公園 体育館



9月1日 表敬 駐日インド大使 ナグマ・モハメド・マリック閣下

9月1日、ナグマ・モハメド・マリック駐日インド特命全権大使が県庁を訪れ、宮城副知事と面談しました。

初めて沖縄を訪問された大使は、国立沖縄戦没者墓苑や平和祈念公園などを巡られました。

面談では、沖縄とインドの幅広い分野での連携強化に向けた意見交換

紅型のテーブルセンターをお土産としてお渡ししました



が行われました。

副知事は大使の来沖を心から歓迎するとともに、さまざまな分野で協力していきたい考えを示しました。

9月10・11 沖縄自動車道特別割引の 継続を要請

鉄道がなく交通渋滞が大都市並みに著しい沖縄県において、沖縄自動車道は、本島の南北をつなぐ唯一の高速移動手段です。県民や観光客の移動および物流の円滑化を図り、北部地域の振興や本県経済全体の更なる発展のため、大城副知事は国土交通省およびNEXCO西日本を訪れ、



国土交通省の廣瀬技監に要請書を手交（左写真）、NEXCO西日本の後藤代表取締役副社長執行役員に要請書を手交（右写真）

沖縄自動車道におけるETC車を対象とした特別割引の継続を要請しました。

9月18日 しまくとぅばの日20周年記念式典

9月18日、「しまくとぅばの日」制定20周年を祝う記念式典が沖縄県庁で開かれました。

式典では、県内4地域の若手による民謡が披露され、主催者や来賓の挨拶に続いて、玉城知事による「しまくとぅば普及功労者表彰」が行われました。



玉城知事による挨拶

表彰後、知事は全編ウチナーグチによる挨拶を行い、県として今後もより一層しまくとぅばの継承に取り組んでいく大切さを語りました。

9月25日 お元気百歳あやかり訪問

玉城知事は、北谷町にお住まいの百歳健康長寿者を渡久地北谷町長とともに訪問し、健康長寿にあやかるとともに、百歳のご長寿をお祝いしました。

知事は、「活動的で充実した日々を送っておられるお姿は、県民全体の目標となるものです。今後ともお体



百歳健康長寿者を訪問する玉城知事

に気をつけて、末永くお元気でいてください」とお祝いの言葉を述べました。

[今月の目次]

- 02 連載1 地方創生 人口減少社会への対策
島と県とともに育つ！小規模離島への職員派遣
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集 首里城正殿がいよいよ一般公開へ
- 06 沖縄を知る！特別授業
なぜ首里城に寄附したの？寄せられた言葉が語る首里城への想いの源とは？
- 08 連載2 首里城復興
首里城正殿の一般公開を記念したイベント
- 09 県の動き1
11月1日～12月1日は、犯罪被害者月間です
- 県の動き2
女性に対する暴力をなくす運動
- 10 東村でだいたい挑戦中！
アンケート&プレゼント
- 11 県の動き3
「沖縄県こどもの権利条例」が令和8年7月に制定されました
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4
ゆずり愛バスレーン実証実験開始
広報課からのお知らせ

[今月の表紙]

Q

この日はなんの日？



国民の祝日「勤労感謝の日」であり、たくさんの方が待ちわびていた「首里城正殿一般公開の日」です！令和の復元により生まれ変わった姿を見に、ぜひお出かけください。

人口・世帯の動き（2026年9月1日現在）

総人口	世帯数
146万6,024人	66万8,972世帯
※前月比80人増加	※前月比176世帯増加

沖縄県庁広報課

美ら島沖縄



公式LINE
@okinawa-government



公式X
@okinawa_pref



Instagram
@churashima-okinawa_official

「美ら島沖縄」電子Book版とバックナンバーは、県ホームページでご覧いただけます。



[美ら島沖縄の設置場所]

美ら島沖縄 Q

県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くのの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



特集

首里城正殿が いよいよ一般公開へ



ぐんじょう または
群青の瞬き
あか ふかえ
紅く蘇る城

令和元年10月31日未明に発生した火災により、首里城正殿を含む建物

9棟（7棟全焼、2棟一部焼損）および建物内に展示・収蔵されていた多くの美術工芸品などが焼失しました。

県では国と連携し、首里城正殿の早期復元に取り組み、県内外の皆さまから寄せられた寄附金を活用し、復元工事に用いる木材や赤瓦の調達、装飾品の製作などを進めてまいりました。

令和8年11月23日（祝・月）より、首里城正殿が一般公開されます。新

しく蘇った首里城正殿へぜひお越しください。

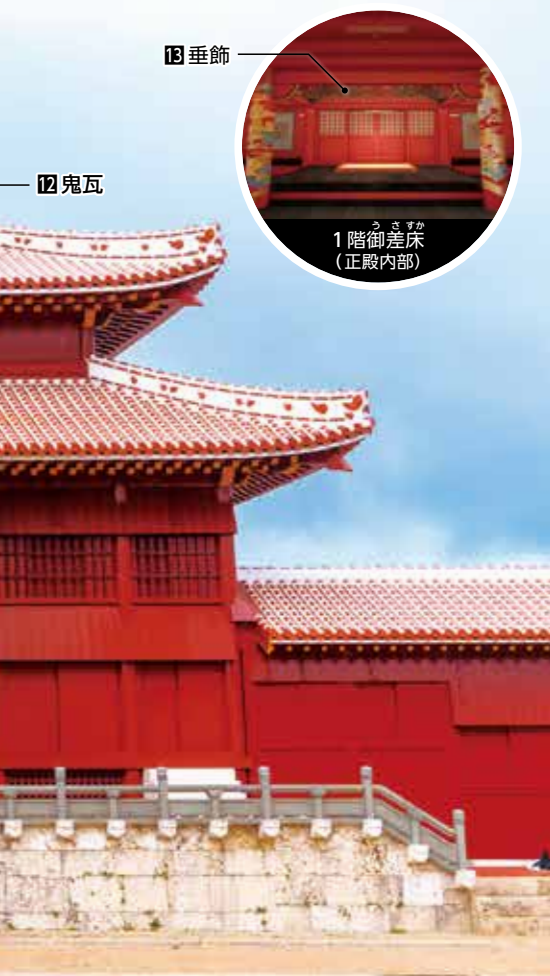
令和8年11月23日以降、首里城正殿へ入場するためには、日時指定の事前予約が必要です（詳細は左記の二次元コードをご参照ください）。なお、首里城公園の駐車場は大変混雑しますので、公共交通機関のご利用をお願いします。

※正殿へ入場しない場合は、予約不要。



首里城公園
公式サイト

―首里城正殿における寄附金を活用した主な製作物



13 垂飾

12 鬼瓦

1 階御差床
(正殿内部)



11/13~14 高校生美ら産フェア
県立総合運動公園 体育館





3 扁額

11 龍頭棟飾

12 鬼瓦

1 赤瓦

11 龍頭棟飾

7 懸魚

2 雲形飾瓦

8 唐破風妻飾

9 向拝透欄間

10 牡丹に獅子・唐草

4 大龍柱

4 大龍柱

5 石高欄

6 礎石・礎盤

1 赤瓦 火災で焼け残った正殿の赤瓦を砕いた粉末、クチャ、赤土などを混合し、県内で金型から製造し、正殿の屋根全体で約6万枚用いています。

2 雲形飾瓦 雨を降らせて城を火災から守る雲の形をかたどった瓦。遺物や高精細古写真などの資料を分析し、左右の大・中・小を製作しています。

3 扁額「中山世土」 新たな知見をもとに、地板を黄色塗り、額縁を木彫刻へと変更し、各分野の職人たちの手によって工程を一つ一つ積み重ねて製作しました。

4 大龍柱 大龍柱は、与那国島産の細粒砂岩を使用し、高精細古写真で細部形状を再検討し、丁寧に彫刻され製作しています。

5 石高欄 正殿正面の基壇および階段に取り付けられ、親柱上の獅子

は、顔の向きを少しずつ変化させるなど、職人が緻密に仕上げました。

6 礎石・礎盤 礎石は、柱の下に敷かれ建物の重みをしっかりと支え、礎盤は、正面中央の4本の向拝柱を支える3段の石の盤で、中段には連弁文様が彫刻されています。

7 懸魚 正殿正面の唐破風に5つ金箔で縁取られ、上層屋根の南北両側の入母屋破風に中央の「燕」と両側の「鰲」と「牡丹」が彫られています。

8 唐破風妻飾 正殿正面の双龍など豪華かつ細密な装飾で、高精細古写真を参考に木取りから見直すなど、富山県の彫刻師が若手とともに製作しました。

9 向拝透欄間 正殿向拝部の正面3枚、側面2枚に設置され、大輪の牡丹と美しい曲線を描く唐草、躍

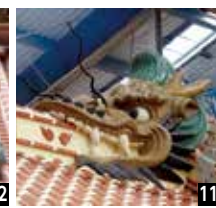
動感あふれる獅子が表裏の両面に彫刻されています。

10 牡丹に獅子・唐草 正殿向拝部の奥に位置し、古写真の分析をもとに牡丹1輪と唐草から、牡丹3輪と阿吽一對の獅子が唐草に囲まれる構成に変更されています。

11 龍頭棟飾 遺物や高精細古写真に基づく形状で、各体約200のパーツに分けて焼き上げ、伝統的な釉薬を用い、黒系の瞳など、忠実に再現しました。

12 鬼瓦 高精細古写真の分析により平成復元時より1.1倍大きくし、県産の原材料の陶土や釉薬などを使用し、より忠実な姿を目指して製作しました。

13 垂飾 正殿1階の御差床上部を彩る表裏に雲龍文や火焰宝珠文に琉球古刺繍の技法を新たに取入れ、華やかにめ細かく表現されています。



問い合わせ 首里城復興課 電話：098-943-0140





待ちに待った首里城正殿の完成に、喜びもひとしお！

なぜ首里城に寄附したの？ 寄せられた言葉が語る 首里城への想いの源とは？

首里城再建を願い
寄せられた多くの寄附金

教えてくれる人

屋宜 智恵美 先生



琉球大学国際地域創造学部教授。
同大法文学部卒業。オーストラリアのジェームス・クック大学で博士課程修了。観光心理学や旅行者行動論を専門とする。

琉球王国の中心として栄え、世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つにも数えられる首里城。「首里城は沖縄のシンボル」とはよく耳にする言葉ですが、人々は具体的にどんな想いで首里城を捉えているのでしょうか？その謎を学術的なデータから紐解いたのが、観光心理学や旅行者行動論などを中心に研究している、琉球大学の屋宜智恵美先生です。

2019年の火災では、正殿を含む多くの建物が焼失し、火災直後から、県内外からたくさんの方々が寄せられました。那覇市が行ったふるさと納税のクラウドファンディングでも、目標額の1億円を3日間で達成し、約9億4千万円が集まりました。屋宜先生は、クラウドファンディングに寄せられた約2万件の支援メッセージに着目。そのなかから2,328件のコメントを抽出し、どんな言葉がどんな組み合わせで、どれぐらい使われているかをコンピューターで調べる「テキストマイニング」という方法で分析したところ、県内と県外で、首里城への愛着の根っこにあるものの違いが浮かび上がってきました。



那覇市のクラウドファンディングページ。
県内外から多くの寄附が寄せられた。



沖縄県民の声

県民 誇り

ウチナーンチュ

歴史 子ども

シンボル

涙 悲しい

ショック



首里城に寄せられた

“応援メッセージ”



再建を願う心は同じ！

県外からの支援者の声

旅行 祈る

大好き

家族 思い出

応援

訪れる



沖縄の人にも、県外から訪れた人にとっても、
首里城は特別な場所だった！

今回のまとめ

立場が違えど
首里城を
想う気持ちは
変わらない！

首里城火災後、復興を願う多くの寄附が集まりました。寄附金とともに寄せられたメッセージを調べると、県民は首里城をアイデンティティとして、県外の人には旅の思い出の場所として語っている様子が多く見受けられました。立場は違って、再建への願いは同じ。首里城が心のよりどころとなっていたのです。

多くの想いと寄附により蘇る首里城正殿。



一方、県外在住の寄附者からのコメントには「訪れる」「家族」「大好き」といった言葉が多く見られました。過去の旅行での楽しい思い出が、

心のよりどころとして人と人を結びつける場所。沖縄県内の寄附者からは、「ウチナーンチュ」「誇り」「涙」といった言葉が多く使われていました。首里城を自分たちの歴史や文化、アイデンティティそのものとして捉え、わが事のように心を痛めて支援していた様子が見えます。

出や、「沖縄」という場所そのものが「大好き」という強い情熱が、復興を応援する原動力になっていました。

つまり、県民にとっては誇りと一体感の象徴であり、県外の人にとっては大切な旅の思い出の場所であったということ。それでも、立場は違っても、「再建」を願う気持ちに変わりはありません。首里城は、沖縄に暮らす人と訪れる人の双方にとっての、心のよりどころといえそうです。

11月22日には正殿復元の完成式が行われ、翌23日から、いよいよ一般公開が始まります。ぜひ足を運び、全国から届いた温かい絆と沖縄の誇りを肌で感じてみませんか？





第3回

首里城正殿の一般公開を
記念したイベント

令和8年11月23日(月・祝)に首里城正殿の一般公開を迎えるにあたって、首里城公園においてさまざまなイベントが実施されます。

令和8年度首里城正殿完成
記念公募イベント

「つながる想い、つなげる未来」

首里城公園では、正殿の完成を記念して、11月1日から12月13日までの土・日曜日を中心に、さまざまなステージイベントを開催します。

11月1日～3日は「首里城復興祭」のステージ、11月8日からの土・日・祝日は「令和8年度首里城正殿完成記念公募イベント」つながる想い、つなげる未来」を開催します。公募イベントでは、首里城の復興と正殿の完成を祝う皆さまと一緒にステージをつくり上げ、琉球芸能をはじめ、ダンスや合唱など、

さまざまな団体にご出演いただき、正殿完成を盛り上げます。

ステージ会場は、下之御庭(しちやぬうな)と芝生広場の2か所。首里城の完成を祝う多彩なステージを、ぜひお楽しみください。

※日程・内容などは変更となる場合があります。最新情報や詳細については、首里城公園公式ホームページをご確認ください。



首里城復興祭の様子

供用開始記念イベント

正殿の一般公開開始となる11月23日から1週間程度、首里城



首里城公園
公式ホームページ



首里城正殿
完成記念事業
特設ホームページ

正殿復元を祝い、来園者を歓迎するため、左記のイベントを実施します。

- オープニングセレモニーの実施
- 子どもたちが楽しめるワークショップ、ひみつ発見クイズの開催
- 完成記念展示の実施

※日程・内容などは変更となる場合があります。最新情報や詳細については、首里城正殿完成記念事業特設ホームページをご確認ください。

世界遺産関連イベント

首里城正殿遺構とともに世界遺産となっている、今帰仁城跡、勝連城跡、座喜味城跡、中城城跡において、首里城を中心とした「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の歴史を学ぶ、現地ツアーを行います。皆さまのご参加をお待ちしています。

※日程や申込方法などの詳細は特設ホームページをご覧ください。



問い合わせ

首里城復興課

電話：098-943-0140



読者の声へ美ら島沖縄9月号へ

表紙「デザインマンホール」

● 素敵な模様のマンホールが県内に沢山あることに驚きました。マンホールカードをもらいに行きたいです。

特集「受け継ぐ、しまくとぅば」

● 『しまくとぅば』の大切さ、継承されていかなければならない故郷の言葉。気持ちがあってもなかなか話すことができない現状がある。「しまくとぅばの日」の制定はその普及にとても貢献していると思います。県民大会の成功を願います。

沖縄を知る！特別授業「沖縄そばは世界へ挑めるのか？」

● 沖縄そばの海外展開をテーマに現地化する味のアレンジが面白かったです。

連載2「首里城復興」

● 首里城アプリ、役立ちます。

● 県の動き「人と動物が幸せに暮らせる沖縄へ」実家でもペットを飼っているが、愛護週間があることや、防災グッズについて考えたことがなかったため、勉強になった。

久米島町でただいま挑戦中！

● 海洋深層水を養殖・食品・エネルギーなどへ循環利用し、地域産業と雇用につなげる取組が興味深かった。

今後取り上げてほしい内容

● 新しい知事になった、これから沖縄の変化、取り組みなど知りたいです。

● ペーパレス化の賛否についてアンケートをとってもらいたいです。

「美ら島沖縄」のバックナンバーは、県のホームページをご覧ください。



美ら島沖縄

「美ら島沖縄」のアンケートに回答いただいた内容から一部抜粋して掲載しています。アンケートについては、10ページをご覧ください。



11/13~14 高校生美ら産フェア

県立総合運動公園 体育館

